

子宮頸がん

88.3%

回収率 93.8%

		No.	4	10	12	13	16	19	25	28	29	31	35	39	46	49	50	55	57			
		所属地区医師会 及び区分	北部 診療所	北部 診療所	北部 診療所	北部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所			
		検査機関名	KIN放射線治療・検診クリニック	かじまやクリニック	北部地区医師会	運天産婦人科病院	名城病院	中部産婦人科病院	中研病院	ちばなクリニック健康管理中心	中部協同病院	ゆいクリニック	美里女性クリニック	愛知クリニック	いなぐりクリニック	吉野ウイメンズクリニック	当山産婦人科病院	アドバンスメディカルセンター	ハードラック病院			
1 受診者への説明	(1)	受診者へがん検診に関する資料を検査前に配布していますか？	83.6%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(2)	受診者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	83.6%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		受診者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。																				
	(3)	検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること、かつ要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		精密検査の方法(コルポスコープ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要)	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検査機関が共有すること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検査の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)、がん検診の欠点(がん検診で必ずがんを見つかるわけではないこと、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合があること)	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検診受診の継続(頻年)が重要であることに加えて、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		子宮頸がんの罹患率は我が国の女性のがんの中で多いことに加えて、近年増加傾向にあること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		82.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
2 検査機関での精度管理	(1)	検診は、以下の項目を実施していますか？																				
	a	問診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		b	視診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		c	医師による子宮頸部の視診による細胞診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2)	細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検査機関の間で書面を取り交わしていますか？※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)	細胞診は、直接下に子宮頸部及び陰道表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定など)していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか？不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制がありますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか？不適正例がない場合でも、対策を講じる体制がありますか？	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか？	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(7)	問診は、「妊娠及び分娩歴」、「月経の状況」、「不正性器出血等の症状の有無」を聴取していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(8)	問診の上、症状(体がんの症状を含む)がある受診者には、検診ではなくすみやかに専門機関で検査を行うよう指導するルールがありますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(9)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(10)	視診は陰鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しましたか？	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
遵守率		98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
3 細胞診判定施設での精度管理	(1)	細胞診業務の外部施設委託について番号をお答えください。 ①の回答を選択した場合委託先名を記入して下さい。 ②細胞診業務を外部委託している		2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	(2)	(1)で②(細胞診業務を外部委託している)とお答えした施設にお伺いします。細胞診業務の委託機関名は、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検査機関の間で書面を取り交わしていますか？※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	86.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(1)	①(細胞診業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。																				
	a	細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか？	59.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		(3)-aで「×」と回答した施設にお伺いします。																				
		b 公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	c	細胞診陽性と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか？	93.4%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		市町村、医師会等に再スクリーニング実施率を報告できる体制がありますか？	93.4%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	e	細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いましたか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか？※※必ず全ての標本について実施すること一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には「×」と回答してください)。	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
f	がん発見例があった場合、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか？	67.2%	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	標本は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率		88.7%	75.0%	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	75.0%	100.0%	100.0%		
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ①行っている ②行っていない		1.2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.2	1		
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか？※(1)で②(行っていない)と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)	昨年度(令和4年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村(集合契約の場合は地区医師会)に報告しましたか？※集合契約で地区医師会が事務代行している市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(組織診、コルポスコピー、細胞診、HPV検査の結果、手術によって判明した組織診断や臨床進行期)を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	93.4%	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
		a 自施設以外の子宮頸がん専門家を交えた診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会を自施設内に設置していますか？※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。	11.1%																			
	b	細胞診判定を行う医師は、昨年度(令和4年度)において、診断・判定の精度向上のための検討会や委員会に参加しましたか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。※自施設内外問わず、検討会や委員会に参加している場合は「○」とご回答ください。																				
	(6)	一昨年度(令和3年度)の貴施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、市町村から情報提供を受けましたか？	55.7%	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
	(7)	一昨年度(令和3年度)の自施設の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、算出しましたか？	39.3%	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	(8)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？あるいは、都道府県の生活習慣病健康増進事業協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考に改善に努める体制がありますか？	95.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率		73.5%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	83.3%	50.0%	66.7%	100.0%	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	83.3%	66.7%	100.0%	83.3%	83.3%			
備考欄			回答なし												回答なし					大塚(4)集合契約以外自施設に委託・説明		

子宮頸がん

88.3%

回収率 93.8%

		No.	62	67	70	70	72	72	75	85	95	103	113	113	116	118	120	123	130				
		所属地区医師会 及び区分	中部 病院	中部 診療所	中部 病院	中部 病院	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所	中部 診療所			
		検査機関名	うえむら 病院	やびく産 婦人科・ 小児科	中部徳洲 会病院 (中部地区 医師会)	中部徳洲 会病院 (中部地区 医師会)	東産婦人 科クリ ニック (中部地区 医師会)	東産婦人 科クリ ニック (BML)	浦添総合 病院 (中部地区 医師会)	Naoko女 性クリ ニック	パーク レーシ アクリ ニック	仲地レ ディース クリニック	Joyレ ディース クリニック (くもじ クリニック (GRC))	Joyレ ディース クリニック (くもじ クリニック (GRC))	那覇市立 病院	那覇市立 リニック	友利産婦 人科	沖繩協同 病院	横井病院				
1 受診者への説明	(1)	受診者へがん検診に関する資料を検査前に配布していますか？	83.6%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(2)	受診者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	83.6%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		受診者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。																					
		検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること、かつ要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		精密検査の方法(コルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要)	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検査機関が共有すること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検査の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)、がん検診の欠点(がん検診で必ずがんを見つかるわけではないこと、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合があること)	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検診受診の継続(頻年)が重要であることに加えて、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		子宮頸がんの罹患率は我が国の女性のがんの中で多いことに加えて、近年増加傾向にあること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		遵守率	82.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		100.0%	100.0%		
2 検査機関での精度管理	(1)	検診は、以下の項目を実施していますか？																					
	a	問診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	b	視診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	c	医師による子宮頸部の視診による細胞診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検査機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	細胞診は、直接下に子宮頸部及び陰道表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定など)していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか？ 不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制がありますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか？ 不適正例がない場合でも、対策を講じる体制がありますか？	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか？	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	問診は、「妊娠及び分娩歴」、「月経の状況」、「不正性器出血等の症状の有無」を聴取していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(8)	問診の上、症状(体がんの症状を含む)がある受診者には、検診でなくすみやかに専門機関で検査を行うよう指導するルールがありますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(9)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(10)	視診は陰鏡を挿入し、子宮頸部の状態を観察しましたか？	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%		100.0%	100.0%			
3 細胞診判定施設での精度管理	(1)	細胞診業務の外部委託について番号でお答えください。 ①の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ②細胞診業務を外部委託している		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2		1	2			
	(2)	(1)で②(細胞診業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。細胞診業務の委託機関名は、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検査機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	86.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(1)	①(細胞診業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。																					
	a	細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか？	59.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	b	(3)「a」で「×」と回答した施設にお伺いします。公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	c	細胞診陽性と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか？	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	d	市町村、医師会等に再スクリーニング実施率を報告できる体制がありますか？	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	e	細胞診結果の報告には、ベセスシステムを用いましたか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	f	全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか？※※必ず全ての標本について実施すること一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には「×」と回答してください)。	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	g	がん発見例があった場合、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか？	67.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
h	標本は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率	88.7%	87.5%	87.5%	87.5%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	100.0%		100.0%	100.0%				
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っていない		1	2	1	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	2		1	1			
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか？ ※(1)で②(行っていない)と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)	昨年度(令和4年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村(集合契約の場合は地区医師会)に報告しましたか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	要精検者となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療結果(組織診、コルポスコプ下細胞診、HPV検査の結果、手術によって判明した組織診断や臨床進行期)を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	a	自施設以外の子宮頸がん専門家を交えた診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会を自施設内に設置していますか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。	11.1%																				
	b	細胞診判定を行う医師は、昨年度(令和4年度)において、診断・判定の精度向上のための検討会や委員会に参加しましたか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。 ※自施設内外問わず、検討会や委員会に参加している場合は「○」とご回答ください。	100.0%																				
	(6)	一昨年度(令和3年度)の貴施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、市町村から情報提供を受けましたか？	55.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	一昨年度(令和3年度)の自施設の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、算出しましたか？	39.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？あるいは、都道府県の生活習慣病健康増進事業協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考に改善に努める体制がありますか？	95.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		遵守率	73.5%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	83.3%	66.7%	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%	100.0%	83.3%		85.7%	66.7%			
備考欄																							

子宮頸がん

88.3%

回収率 93.8%

No.	149	151	159	161	168	171	174	181	188	194	199	200	201	213	217	217	218		
所属地区医師会	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇		
施設区分	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所		
検診機関名	伊波クリニク	和ウメズクリニック	たから産婦人科	安産産科	石川産婦人科	新田クリニック	メデカカプラザ大森中央	大浜第一病院	糸数病院	徳洲会新都市クリニック	沖繩セントラル病院	沖繩赤十字病院	かみや母と子のクリニック	沖縄健康づくり財団	空の森クリニック(中部地区医師会)	空の森クリニック(那覇市医師会)	南部徳洲会病院		
(1)	受診者へがん検診に関する資料を検診前に配布していますか?	83.6%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(2)	受診者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか?	83.6%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	受診者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか? ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。																		
	検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること、かつ要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)	精密検査の方法(コルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要)	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	検査の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)、がん検診の欠点(がん検診で必ずがんを見つけれらるわけではないこと、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合があること)	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)	検診受診の継続(頻年)が重要であることに加えて、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5)	子宮頸がんの罹患率は我が国の女性のがんの中で多いことに加えて、近年増加傾向にあること	82.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率	82.4%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(1)	検診は、以下の項目を実施していますか?																		
	a 問診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	b 視診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(2)	医師による子宮頸部の検体採取による細胞診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(3)	細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか? ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)	細胞診は、直接下に子宮頸部及び陰道表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定など)していますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか? 不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制がありますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか? 不適正例がない場合でも、対策を講じている体制がありますか?	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(7)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか?	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(8)	問診は、「妊娠及び分娩歴」、「月経の状況」、「不正性器出血等の症状の有無」を聴取していますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(9)	問診の上、症状(体がんの症状を含む)がある受診者には、検診ではなくすみやかに専門機関で検査を行うよう指導するルールがありますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(10)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(1)	細胞診業務の外部委託について番号をお答えください。 2の回答を選択した場合に委託先名をご記入ください。 ①細胞診業務を外部委託していない(自院にて細胞診判定実施) ②細胞診業務を外部委託している		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	2	1	
(2)	(1)で②(細胞診業務を外部委託している)とお答えした施設にお伺いします。細胞診業務の委託機関名は、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか? ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	86.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(3)	(1)で①(細胞診業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。																		
	a 細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか?	59.0%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	(3)-aで「×」と回答した施設にお伺いします。																		
b 公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
c 細胞診陽性と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか?	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(4)	市町村、医師会等に再スクリーニング実施率を報告できる体制がありますか?	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
e 細胞診結果の報告には、ベセスシステムを用いましたか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
f 全ての子宮頸がん検診検本の状態について、ベセスシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか? ※※必ず全ての検本について実施すること一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には「×」と回答してください)。	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
g がん発見例があった場合、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか?	67.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
h 検本は少なくとも5年間保存していますか?	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率	88.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	87.5%	100.0%	85.7%	
(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか? 2の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	
(2)	検診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか? ※(1)で②(行っていない)と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(3)	昨年度(令和4年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村(集合契約の場合は地区医師会)に報告しましたか? ※集合契約で地区医師会が事務代行している市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)	要精検者となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(組織診、コルポスコ、細胞診、HPV検査の結果、手術によって判明した組織診断や臨床進行期)を把握していますか?もしくは把握する体制がありますか? ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
a 自施設以外の子宮頸がん専門家を交えた診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会を自施設内に設置していますか? ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。	11.1%																		
b 細胞診判定を行う医師は、昨年度(令和4年度)において、診断・判定の精度向上のための検討会や委員会に参加しましたか? ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。 ※自施設内外問わず、検討会や委員会に参加している場合は「○」とご回答ください。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(6)	一昨年度(令和3年度)の貴施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、市町村から情報提供を受けましたか?	55.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(7)	一昨年度(令和3年度)の自施設の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、算出しましたか?	39.3%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
(8)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか?あるいは、都道府県の生活習慣病健康増進管理協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考に改善に努める体制がありますか?	95.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率	73.5%	83.3%	83.3%	83.3%	50.0%	66.7%	100.0%	83.3%	66.7%	83.3%	50.0%	83.3%	71.4%	66.7%	100.0%	83.3%	83.3%	100.0%
	備考欄																		

子宮頸がん

88.3%

		No.	219	220	221	222	226	229	233	235	237	239	240	252	266	267
		所属地区医師会 施設区分	南部 病院	南部 診療所	南部 診療所	南部 診療所	西古 診療所	西古 診療所	八重山 病院	那覇 診療所	中部 診療所	診療所	診療所	八重山 診療所	北部 診療所	那覇 診療所
		検診機関名	とよみ生 産院	豊城中央 病院付属健 康管理セン ター	フクリック クリニック	与那原中 央病院	城辺中央 クリニック	奥平産婦 人科病院	みやぎ M&Gリ ニック	かりゆし 病院	那覇市医師 会生活習慣 病検診セン ター	中部地区 医師会検 診センター	まつだく クリニック	まつせり レディース クリニック	美ら海ハ ジイ産婦 人科	ウイン ズクリ ニック糸 数
		回収率	93.8%													
1 受診者への 説明	(1)	受診者へがん検診に関する資料を検査前に配布していますか？	83.6%	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
	(2)	受診者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	83.6%	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○
		受診者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。														
		検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分で報告されること、かつ要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	82.0%	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
		精密検査の方法(コルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要)	82.0%	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
		精密検査結果は市町村へ報告することに加え、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	82.0%	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
		検査の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)、がん検診の欠点(がん検診でがんを見つけれらるわけではなく、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合があること)	82.0%	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
		検診受診の継続(頻年)が重要であることに加え、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	82.0%	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
		子宮頸がんの罹患率は我が国の女性のがんの中で多いことに加え、近年増加傾向にあること	82.0%	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
		遵守率	82.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	14.3%	100.0%	100.0%		0.0%	0.0%
2 検診機 関での 精度管 理	(1)	検診は、以下の項目を実施していますか？														
	a	問診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	b	視診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	c	医師による子宮頸部の検体採取による細胞診	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2)	細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	93.4%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	細胞診は、直接下に子宮頸部及び陰道表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定など)していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	検体が不適正との判定を受けた場合は、再度検体採取を行っていますか？ 不適正例がない場合でも、再度検体採取を行う体制がありますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	検体が不適正との判定を受けた場合は、その原因等を検討し、対策を講じていますか？ 不適正例がない場合でも、対策を講じる体制がありますか？	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	検診結果は少なくとも5年間保存していますか？	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	問診は、「妊娠及び分娩歴」、「月経の状況」、「不正性器出血等の症状の有無」を聴取していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(8)	問診の上、症状(体がんの症状を含む)がある受診者には、検診でなくすみやかに専門機関で検査を行うよう指導するルールがありますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(9)	問診記録は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(10)	視診は陰鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しましたか？	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3 細胞診 判定施設 での 精度管 理	(1)	細胞診業務の外部施設委託について番号をお答えください。 ①の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ②細胞診業務を外部委託していない(自院にて細胞診判定実施) ③細胞診業務を外部委託している		1	1	2	2	2	2	2	2	1		2	2	2
	(2)	(1)で②(細胞診業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。細胞診業務の委託機関名は、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。	86.5%	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	(1)	①(細胞診業務を外部委託していない)とお答えした施設にお伺いします。														
	a	細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか？	59.0%	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×
	b	(3)「a」で「×」と回答した施設にお伺いします。 公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っていますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	c	細胞診結果と判断された検体の10%以上について、再スクリーニングを行っていますか？	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	d	市町村、医師会等に再スクリーニング実施率を報告できる体制がありますか？	93.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	e	細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いましたか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	f	全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか？※※必ず全ての標本について実施すること一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には「×」と回答してください)。	98.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	g	がん発見例があった場合、過去の細胞所見の見直しを行う体制がありますか？	67.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
h	標本は少なくとも5年間保存していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率	88.7%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	87.5%	87.5%	87.5%	100.0%	71.4%		100.0%	75.0%	100.0%
4 システ ムとし ての 精度管 理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っていない		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	2	2
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内に行われていますか？ ※(1)で②(行っていない)と回答した場合は、結果通知の委託先に確認してお答えください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	昨年度(令和4年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数等を市町村(集合契約の場合は地区医師会)に報告しましたか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行している市町村への報告を行っていることを確認している場合は、「○」と回答してください。	96.7%	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(組織診、コルポスコ、細胞診、HPV検査の結果、手術によって判明した組織診断や臨床進行期)を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	93.4%	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	a	自施設以外の子宮頸がん専門家を交えた診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会を自施設内に設置していますか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。	11.1%	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	b	細胞診判定を行う医師は、昨年度(令和4年度)において、診断・判定の精度向上のための検討会や委員会に参加しましたか？ ※自施設で細胞診判定を行っていない場合は回答不要です。 ※自施設内外問わず、検討会や委員会に参加している場合は「○」とご回答ください。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	一昨年度(令和3年度)の貴施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、市町村から情報提供を受けましたか？	55.7%	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○
	(7)	一昨年度(令和3年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中率)について、算出しましたか？	39.3%	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
	(8)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？あるいは、都道府県の生活習慣病健康増進管理協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考に改善に努める体制がありますか？	95.1%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
		遵守率	73.5%	85.7%	85.7%	50.0%	66.7%	66.7%	66.7%	50.0%	33.3%	100.0%	71.4%		66.7%	83.3%
	備考欄												回答なし			